



JBMXF NEWS RELEASE

2019年3月26日

一般社団法人全日本 BMX 連盟 <http://www.jbmx.org>

## JBMXF 大東建託シリーズの開催を発表

一般社団法人全日本 BMX 連盟(略称 JBMXF)は、2019年3月25日に東京都目黒区の自転車文化センターで記者発表会を開催しました。全日本 BMX 連盟は、大東建託株式会社の「未来のアスリート支援プロジェクト」とのスポンサー契約を3月25日より締結し、2019年のJBMXFシリーズを「JBMXF 大東建託シリーズ」として開催することを発表しました。全日本 BMX 連盟が主催し、公益財団法人日本自転車競技連盟の公認大会であるJBMXFシリーズは、「JBMXF 大東建託シリーズ」として4月28日に開幕し、11月3日の最終戦まで、全5戦が開催されます。



(左より) 日本自転車競技連盟強化部・三瓶将廣氏、全日本 BMX 連盟理事長・渡辺浩嗣、大東建託執行役員未来のアスリート支援プロジェクト事務局長・館正文氏、日本自転車競技連盟専務理事・飯坂神治氏

[2019JBMXF 大東建託シリーズ予定](#)

登壇者のコメントは下記のとおり

#### 一般社団法人全日本 BMX 連盟理事長、渡辺浩嗣のコメント。

「全日本 BMX 連盟は、BMX レースを通じて青少年の育成、レースの普及、大会運営を行っている。このたび大東建託株式会社未来のアスリート支援プロジェクトとスポンサー契約を結ぶことになった。日本自転車競技連盟の公認大会である、JBMXF シリーズを 2019 年から JBMXF 大東建託シリーズとして開催する。東京オリンピックを間近にして BMX レースに注目が集まるなか、我々が行う大会についても質を高めていく。BMX レースは 5 歳の子どもから年齢や性別を問わず参加でき、自転車競技の入り口となっている種目。



世界的にはメジャーな種目だが、日本国内にはまだまだコースが少ないなかで選手育成を含めて行っている現状がある。このたび大東建託と良きパートナーシップを結べたことで、BMX レースの普及などをさらに進めていく」

#### 大東建託株式会社の執行役員で未来のアスリート支援プロジェクト事務局長の館正文氏のコメント



「未来のアスリート支援プロジェクトは、サッカー日本代表や、ゴルフのいい部屋ネットレディスのスポンサーとは差別化して、さまざまなスポーツにおけるアスリートの卵を育成するために 5 年前からスタートし、現在は 57 組のアスリートを支援している。今回縁があって、全日本 BMX 連盟とコラボレーションできることは、会社としても非常にうれしく思っている。情熱をもって頑張っている競技者を、全日本 BMX 連盟も一緒になって育成していこうという姿勢に、未来のアスリート支援プロジェクトとの親和性が非常に強く感じられ、スポンサー契約に至った。競

技として盛り上がり、BMX に取り組む競技者の方々の活躍を願っている」

## 公益財団法人日本自転車競技連盟専務理事の飯坂紳治氏のコメント



「BMX は日本自転車競技連盟においても歴史の浅い競技ではあるが、報道関係からの興味が高まっていることをひしひしと感じている。BMX は都市型スポーツであり、若年層の入り口として、楽しみやすくなりやすいことが魅力であり、報道されていると考えている。東京オリンピックでのメダル獲得の可能性についても、トラック競技と同じように最有力の種目であるとらえている。そこに大東建託の支援が受けられることは、大変うれしく思っていて、間違いなく成果も出てくると考えている」

## 日本自転車競技連盟でBMXレースの強化を担当する三瓶将廣氏のコメント

「自分は5歳からBMX競技をはじめ、全日本BMX連盟の大会に出場し、全日本選手権や世界選手権など、たくさんの経験を国内外問わず重ねてきた。2008年の北京オリンピックからBMXレースが正式種目となり、2012年までオリンピック出場を目指して選手として活動してきた。自身はオリンピックへの出場はかなわなかったが、コーチとして選手の育成にシフトし、2013年から12歳から16歳を対象にしたユース強化育成システムを進めてきた。その活動が6年目に入り、最初に手がけた世代がユースオリンピックに出場するなどの結果も出ているが、さらに若い年齢からの育成が必要とも感じている。このたび全日本BMX連盟を大東建託が支援するコラボレーションが実現したことで、大会や選手のサポートがより充実し、競技レベルが高まることに期待している。BMXレースは、自転車競技の基礎となる要素が多い種目であるため、すべての自転車種目の競技力を向上することにもつながると思う」



『未来のアスリート支援プロジェクト「TEAM DAITO(チーム大東)」』とは



大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)は、創業 40 周年を機に 2014 年から『未来のアスリート支援プロジェクト「TEAM DAITO(チーム大東)」』をスタートしています。

当プロジェクトは、将来の活躍が期待されるアスリートを支援するプロジェクトで、お客様や地域社会のために情熱を注ぎ続ける企業でありたいという思いから、同じように情熱をもって夢に向かい挑戦している未来のアスリート 57 組を「チーム大東」として支援しています。支援対象は、オーナー様、入居者様、社員の皆様、およびそのご家族の方です。

アスリートの直向きな努力や情熱、夢に挑戦し続ける姿が、人に喜びや感動を与え、未来を切り開く力になると信じています。

<チーム大東HP> <http://team-daito.com/>

<支援競技一覧>ライフル射撃、陸上ホッケー、棒高跳び、カーリング、ビーチサッカー、サッカー、空手、柔道、フェンシング、ロードレース、ゴルフ、BMX、スキー、スキージャンプ、セーリング、テニス、水泳、マウンテンバイク、卓球、アイスホッケー、女子野球、体操、テコンドー、レスリング、ラグビー、バドミントン、ブラインドサッカー、車椅子バスケットボール、車椅子ソフトボール、車椅子卓球、障がい者卓球、フィギュアスケートなど(順不同)

<チーム大東ロゴ> 重なる炎はアスリートたちの「燃える情熱の結集」を意味します。そしてその成功と活躍の広がりを、ゆらめく格調高い金色のグラデーションで表現しました。